愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力のお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・細胞など）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（血液・細胞など）を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	胆道癌進展における Protein Kinase R の機序解明に関する研究
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院　病院長
研究責任者（個人情報管理者）	消化器・内分泌・代謝内科学　小泉　光仁
研究期間	愛媛大学医学部附属病院長許可日～2036 年 6 月 30 日
対象となる方	① 2023 年 6 月 30 日～2036 年 6 月 30 日に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち胆道癌と診断され、超音波内視鏡下生検により胆道病変の組織を採取された患者さん ② 2023 年 6 月 30 日～2036 年 6 月 30 日に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち胆道癌と診断され、手術をうけた患者さん
利用する試料・情報等	（利用するカルテ情報）年齢、性別、既往歴、合併症、身体所見、胆道癌の原発部位（肝内胆管、肝外胆管、胆嚢など）、病期、病理組織型、前治療歴、手術の術式、薬物療法の有無および内容、放射線治療歴、再発歴の有無　等 （利用する試料）通常の診療で使用した後に残った試料（血液・細胞など）
研究の概要（目的・方法）	日本における胆道癌の罹患数は年間 2 万人を超え年々増加傾向にあります。胆道癌は初診時にはすでに進行癌であることが多く、予後不良な癌の一つです。そのため胆道癌に対する新しい診断法や治療法の確立が必要です。本研究で注目した Protein Kinase R（PKR）は肝細胞癌において増殖を促進することが知られている因子です。一方で他の癌腫においては増殖抑制の作用が報告されており、癌細胞の増殖に対して促進と抑制の両面性を有しています。胆道癌細胞におい

	て、PKR が発現していることを確認されておりますが、PKR が胆道癌細胞の増殖促進、抑制いずれに関与するのか、また、どのような経路、機序で関与しているかは明らかになっていません。本研究では PKR および関連遺伝子の発現が胆道癌の発生や進展あるいは予後に関わる因子となり得るかどうかについて胆道癌組織を用いて検討したいと考えています。患者さんに新たな検査やご負担はございません。
個人情報の保護について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院　消化器・内分泌・代謝内科学　渡邉 拓郎 791-0295　愛媛県東温市志津川 454 Tel: 消化器・内分泌・代謝内科学 医局 089-960-5308